

平成28年度

北海道教育大学  
附属函館幼稚園だより

NO. 1【号】

平成28年4月6日（水）



今年も、個性豊かな「彩（いろどり）」あふれた、笑顔の花が咲きますように

園長 橋本 忠和

4月になり、春の暖かさに幼稚園周辺の植物は、桜も含め多様な<sup>いろどり</sup>の花の蕾が芽吹き始めてきました。春の息吹と共に附属幼稚園に入園された、はな組さんの19名の園児のみなさん、そして保護者のみなさま、ご入園、おめでとうございます。

ひとつ大きくなった年中のつき組さん（18名）と年長のゆき組（18人）の園児のみなさん、ご進級、おめでとうございます。新しい友だちを温かく迎え入れ、元気に仲良く遊んで、幼稚園の生活を楽しくしてくれるよう期待しています。

入園・新年度を迎えて保護者のみなさまは、大きな喜びと共に園での新しい生活に少し心配されている面もあると思います。園児たち一人一人は保護者の方々の温かい眼差しの子育てにより、個性豊かな「もの・こと」を生み出す創造的な種を有しています。美術教育の先人、チゼックが「教師の重要な役割は、創造的雰囲気を作り出すこと」と述べているように、園では友達と仲良く体験する楽しい行事（毎月のお誕生会、春の園外保育、夏のちびっこまつり、秋の運動会と親子遠足、冬の遊戯会やクリスマス会・餅つき、ゆき組さんは宿泊保育もあります）による創造的雰囲気づくりと個に応じたきめ細やかな日々の支援等により、その種から春の野のように「<sup>いろどり</sup>彩」あふれた笑顔の花をいっぱい咲かせたいと考えております。この園だよりにおきまして、見つけた園児たちの「<sup>いろどり</sup>彩」豊かな「表現＝言葉・造形活動・パフォーマンス等」を紹介していきたいと考えています。楽しみにしててください。

教職員スタッフでは園長（橋本忠和：大学では子ども・保護者・地域等を元気にする造形活動を研究しています）と養護教諭・今 香織が新たに加わりました（担当は別紙の通りです）。幼稚園に新しい風を吹き込み、従来からの熱意のある教職員としっかり力を合わせて園児を保育しますので、ご安心ください。また、より一層、信頼していただける充実した保育を実現するため、ご家庭のみなさまと共に歩みたいと思いますので、ご協力よろしくお願ひいたします。お気づきの点や相談したいこと等がありましたら、ご遠慮なくお伝えください。